

2012年11月10日(土)13:30～名細公民館 「第14回・男のゆうゆう塾」

第11回 「脚折雨乞」 脚折雨乞行事保存会・平野行男さん

出席者(18名) 南、戸田、弓野、青山、斉藤、遠藤、浦野、吉田、御菩薩木、金田、栗栖、菊地、竹内、佐藤、永山、仁科、富野、一般1名

江戸時代から伝わる「脚折雨乞」は、4年に一度行われ、国の無形民俗文化財に選定されています。脚折の雷電池(かんだち)には大蛇がいて、日照りの時、雨乞いすると雨が降ったそうです。池を縮めて田にしたため、大蛇が群馬の板倉神社に移ってしまい、雨乞いしても雨が降らなくなりましたが、板倉神社の水を雷電池に入れると再び、雨が降ったそうです。



2012年11月10日(土)13:30～名細公民館 「第14回・男のゆうゆう塾」

第11回 「脚折雨乞」 脚折雨乞行事保存会・平野行男さん

脚折雨乞行事保存会長の平野さんから、「脚折雨乞」行事にまつわるお話をして頂きました。36mの龍蛇を造り、300人の担ぎ手によって白鬚神社から市内を練り歩き、雷電池に入れる行事です。翌日は、靈験あって雨になりました。良かったですね！当日まで、雨が降らない事を願ってるそうです。

